

広報クイズ ⑤⑤

問題

① 9月11、12日に行われた第4回スポーツフェスティバル。今年の種目は何だったでしょう？

- A バレーボール B バドミントン
 - C ターゲットパードゴルフ
- (ヒント=14ページ)

② しろね大風と歴史の館で収蔵される国内外の風は何点ぐらい？

- A 800点 B 1,500点 C 2,000点
- (ヒント=16ページ)

③ 桜町青年会がお祭りで行った催しは？

- A 金魚すくい B 大声絶叫大会
 - C スリーオンズスリ-
- (ヒント=18ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。
あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 締め切り 10月18日(明)必着 抽選 10月19日(火)に市役所に来られた人に抽選していただきます 発表 11月1日号

当選おめでとう

【図書券】 ▶ 風間ヨシミ (能登) ▶ 早藤健 (白井) ▶ 高井勇輝 (庄瀬) ▶ 加藤彩 (水道町) ▶ 増子権一 (大通)
【自然科学館招待券】 ▶ 小林梓 (戸頭) ▶ 藤原悟 (大通南) ▶ 田村豊 (四ツ興野)

応募のはがきから

○学校を少し増築するだけで、結構お金がかかるんだな〜と思った(A) ○「早く市民プールが欲しいな」に全く同感です。市民が気軽に行けるプールや、もう少し立派な図書館が欲しいですね(S)



抽選は9月20日に、市役所で樋口光雄さん(旭町)にお願いしました。先月号の正解は●C●B●Cです。応募総数は24通で、すべて全問正解でした。

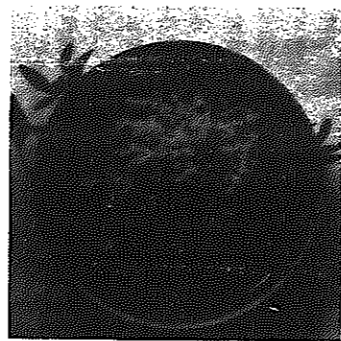
日本では「香りマツタケ、味シメジ」の言葉どおり、シメジは味の良いキノコとして多くの人に食べられてきました。栄養面では血中コレステロールを下げる有効成分としてビタミンB群、ミネラルを多く含み、さらに食物繊維の豊かなノコギリのダイエツト食品としても人気が高いようです。選ぶときは、軸が太く短いもので、かさも小さく、黒灰色のものを避けましょう。

調理するときは、風味成分を失わないよう、使う直前に手早く洗って使いましょう。洗って時間をよくと傷みやすくなり、かきの裏も黒くなります。風味豊かなうちに

①米は洗ひ、ざるに上げておく
 ②シイタケは石づきを取って千切
 ③油抜きした油揚げ、ニンジン
 ④ポールに調味料を合わせ、鳥ひき肉、②、③を交ぜ、10分ほどおいて、味を含ませる
 ⑤炊飯器に米、だし汁、④を汁ごと入れて炊く
 ⑥炊き上がったら、蒸らしていた

しがれ健康家族 ②② しゆんを食べる(シメジ)

保健センター (〒973-4300)



に汁物、なべ物、煮物、あえ物、天ぷらと、幅広い料理でたっぷり味わいましょう。キノコを取り合わせ、季節の味を炊き込んだご飯は、だれにでも親しまれる味です。

材料(三〜四人前) 米: カップ3 生シイタケ: 4枚(60g)
 エノキダケ・シメジ・鳥ひき肉: 各100g ニンジン: 30g 油揚げ: 1枚(20g) だし汁: カップ3とろろ 調味料: しょうゆ: 大さじ3 酒: 大さじ1 みりん: 大さじ1

【作り方】

市立図書館 今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館
 月・水・木・土・日曜日
 ……午前9時〜午後5時
 ……午前9時〜午後8時
 ▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

今月の一冊

「ヴィクトリア女王」上 S・ワイントラウプ著
 一八三七年、わずか十八歳で王位に着き、以後六十四年間大英帝国に君臨したヴィクトリア。華やかな歴史の表舞台に立ち続けた大女王の素顔を、日記や私信などの資料を駆使して描く。



市政Q&A ほ場整備関連農道舗装 金額と認定決議年月日を

市負担相当額は6億6,044万円。市道認定の手續きは、平成元年から年次的に進めています。



Q

本紙8月1日号に掲載された都市下水道建設事業の市債残高について質問をした者です。その中で、ほ場整備関連の農道舗装にかかわる地元負担金、歳入金総額などについてお尋ねしました。その回答について再質問をいたします。

A

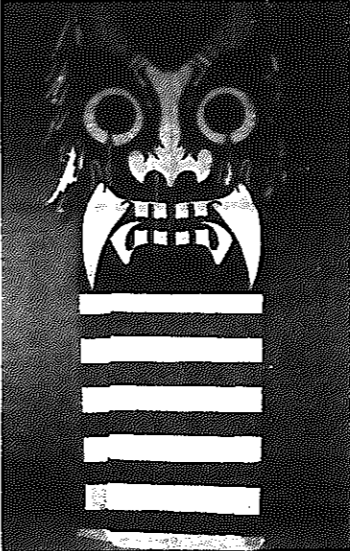
説明不足をおわびいたします。前回の回答と重複する部分もありますが、改めてほ場整備関連の農道舗装事業について説明いたします。白根地区の農道ほ場整備事業は昭和49年から平成4年度まで行われました。事業費は約270億円です。事業費は約270億円です。事業費は約270億円です。

受けました。融資は10年据え置き15年償還で、総額10億0,597万円を平成18年まで償還します。次に市道認定の議決についてお答えします。ほ場整備関連で整備された52路線70キロメートルの中には、事業着手以前から市が管理している市道31路線46・2キロメートルが含まれております。従って新たに市道認定が必要となった道路は、21路線23・8キロメートル。このうち既に市道認定の議決を得た路線は5路線7・5キロメートルで、平成元年3月24日に4路線、2年3月23日に1路線となっております。まだ認定手続が終了していない路線があるのは、工事終了後に順次認定作業を進めているためです。残りの路線についても現在、台帳整備や路線図の作成など、事務的な作業を進め、年次的に認定手続を取ることにしています。

あなたも 風博士 ④鬼ようず

このコーナーでは、来年夏の完成を目指して建設中の「しろね大風と歴史の館」に展示される国内外の風の数々を紹介していきます。このコーナーを読めばあなたも風博士。今回は山口県児島の「鬼ようず」です。

「ようず」は漢字で書くと「揚紙」です。福岡県や山口県では風のことを「ようず」ともいいました。児島は秋の西北四十六キロの海上に浮かぶ小さな島です。故郷島忠夫によると「気候は温暖。コメは島外に出すほどとれ、海産物もとれる。本土から遠いが



離島の暗さはない」とか。正月に八畳、六畳の風を、海を渡る寒風について揚げます。一年間に長男の生まれた家庭では、特に大きな「ようず」を揚げて祝います。近くの隠岐の「いぐり風」も鬼の絵がありますし、古い佐渡の風にも鬼が描かれています。そして秋田のナマハゲ、能登の御陣乗太鼓、佐渡の鬼太鼓など、いずれも鬼が主役です。冬の荒れ狂う海、なまり色の空、絶望的ともいえるような風景に「鬼」を見て、魔よけの願いを込めて、このような民俗が生まれたのかもしれない。鬼の「鬼ようず」も起源ははっきりしないようですが、いつの間にか正月に揚げられ、子供の健康やかな成長を願うものとなりました。

鬼の面の部分にだけ竹骨が張られ、下の横しまのところは、骨のない尾っぽです。(文・風収集委員会 田村和雄)